

令和3年度 事業報告

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材を育成するため、次の事業を行った。

1 但馬ふるさとづくり大学事業

・但馬ふるさとづくり大学の開催

但馬の自然・歴史・文化など多様な地域資源を活かした地域づくりの学習を通して、新しい但馬づくりの担い手を育成するため12講座を実施した。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため3講座を中止した。)

- ① 期 間 令和3年4月24日～11月9日
- ② 会 場 養父市立ビバホールほか但馬各地
- ③ 受講者数 77名
- ④ 講座内容 10日間12講座

開催日	内 容
4/24(土)	共通① まつりがつくる人と地域 講師 森 隆男 氏 (元関西大学文学部教授) 共通② 感動を生むのは、期待を上回るおもてなし 講師 大坂 雄吾 氏 (山城の郷施設長)
5/22(土) 中止	選択① 地域づくり現地講座 養父市八鹿町宿南 ～池田草庵と青谿書院を活かした地域づくり～
6/26(土)	選択② 地域づくり現地講座 豊岡市中央町 ～豊岡駅通の活性化に向けた新たな動き～
7/14(水)	選択③ ものづくり現地講座 朝来市山東町矢名瀬町 ～但馬の風土が育てた酒造りと街並みの保全～
7/19(月)	選択④ ものづくり現地講座 豊岡市城崎町城崎 ～伝統工芸「城崎麦わら細工」を学ぶ～
8/21(土)	<特別講座> 但馬文教府 第54回夏期大学 共通③ どうなる私たちの暮らし 講師 森永 卓郎 氏 (独協大学教授・経済アナリスト) 共通④ ウィンブルドンの風に誘われて 講師 沢松 奈生子 氏 (テニス解説者・元テニスプレイヤー)

8/28(土)	<p>共通⑤ たじま・まちづくりカフェ ～身近な地域づくりを考える～ アドバイザー：山室 敦嗣 氏 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科教授) 事例報告：台風 23 号の被災を経験した住民による防災組織の 自主的な再編</p>
9/12(日)	<p>共通⑥ 第 16 回但馬検定</p>
10/2(土)	<p>選択⑤ 地域づくり現地講座 香美町香住区余部 ～余部の観光資源を活用した住民主体の地域活性化～</p>
10/23(土)	<p>選択⑥ 地域づくり現地講座 新温泉町春來 ～地域の団結力が育てた奇跡のそばの里「てっぺん」～</p>
11/9(火)	<p>選択⑦ ものづくり現地講座 養父市大屋町筏 ～廃校となった小学校に「ものづくり」で灯りを～</p>
11/27(土) 中止	<p>共通⑦ なぜ人口 2 千人の田舎町に 3 千人のランナーが集まるのか？ 講師 久保井 洋次 氏 (みかた残酷マラソン全国大会実行委員長) 共通⑧ 遊びの中に学びがある 講師 前田 敦司 氏 (NPO 法人かなべ自然学校代表)</p>



ふれあい公設市場 (豊岡市中央町)



此の友酒造(株) (朝来市山東町矢名瀬町)



道の駅あまるべ (香美町香住区余部)



但馬醸造所 (養父市大屋町筏)

2 未来を担う人材育成事業

・たじまお仕事探検隊の実施

但馬の将来を担う子どもたちに、但馬の産業や優れた技術を持つ企業について学ぶ機会を提供することにより、地元への愛着や誇りに思う心をはぐくみ、但馬に住み続けたい、将来但馬に戻りたいという気持ちを醸成するために実施した。

開催日	主な内容
7/31(土)	「江原河畔劇場で演劇を届けるお仕事を探ろう」 場 所 江原河畔劇場（豊岡市日高町） 参加人員 5名（小学校5～6年） 内 容 劇団・劇場の仕事の話、劇場の裏側の見学、演劇づくり体験・発表など
8/6(金)	「道路を作ったり、水道の水を届けるお仕事を探ろう」 場 所 豊岡市佐野浄水場、サンキョー(株)（豊岡市） 参加人員 8名（小学校4～6年） 内 容 建設業と水道事業の話、浄水場の見学、ドローンなどの最新機器や工事用重機の操作体験など



江原河畔劇場（豊岡市日高町日置）



サンキョー(株)（豊岡市上佐野）

3 但馬検定事業

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外へその魅力を発信する機会として実施した。

（1）第16回但馬検定の実施

- ① 試験日 令和3年9月12日（日）
- ② 試験場所 県立但馬長寿の郷、豊岡稽古堂

③ 試験結果

() 前回結果

問題 100 問 100 点満点	上級の部 (1 級・2 級共通)		初級の部	計
	1 級(80 点合格)	2 級(60 点合格)	3 級(70 点合格)	
受検者数	4 2 人(49 人)	3 1 人(30 人)	3 2 人(41 人)	105 人(120 人)
合格者数	4 人(17 人)	1 2 人(14 人)	2 0 人(32 人)	36 人(63 人)
合格 率	9.5%(34.7%)	38.7%(46.7%)	62.5%(78.0%)	34.3%(52.5%)
平均 点	6 6. 7 点	5 4. 5 点	7 1. 1 点	
最 高 点	8 4 点	7 7 点	9 9 点	
最年少合格者	40 歳 (32 歳)	25 歳 (23 歳)	20 歳 (20 歳)	
最高齢合格者	73 歳 (76 歳)	72 歳 (72 歳)	74 歳 (71 歳)	

④ 特 徴

- ・オンライン動画配信による事前講習会を実施。
- ・1 級試験は問題の難易度が高く合格率が下がったが、70 歳代の 2 名の方が合格。
- ・2 級試験は合格者と低得点者に 2 極化し、上級問題に苦慮した形跡が見られた。
- ・3 級試験は、合格者のうち約半数が 20 歳代であった。



(但馬長寿の郷試験会場)



(豊岡稽古堂試験会場)

(2) ウェブサイト「ザ・たじま」の運営

但馬検定公式サイトを活用し、子どもを含めた幅広い世代が但馬の地域情報を楽しみながら学べる機会を提供した。

- ① 講習動画等の但馬検定関連情報の提供
- ② 小中学生でも楽しく取り組めるミニクイズ「たじま知ってQ」の掲載
- ③ ウェブ版但馬事典「ザ・たじま」の情報更新

(3) ふるさと出前講座の推進

- ① みてやま学園の受講生を対象に、但馬検定の模擬試験と解説を実施し、但馬を楽しく学ぶ但馬検定をPRした。

- ・実施日 令和3年6月22日
- ・実施場所 但馬文教府
- ・参加者数 21人

② 小学生を対象として、ウェブサイト「ザ・たじま」内のクイズコーナーを活用した出前講座を実施し、ふるさと教育を推進した。

- ・実施日 令和4年1月14日、27日
- ・実施場所 豊岡市立竹野小学校、朝来市立大蔵小学校
- ・参加者数 52人（小学校4年生）



(竹野小学校)



(大蔵小学校)

II 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行った。

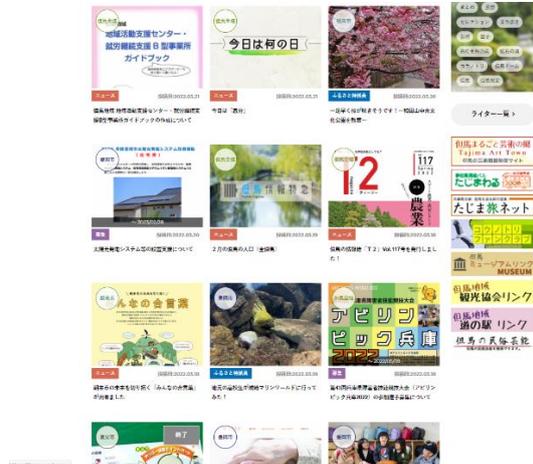
1 地域情報発信事業

各種広報媒体を多角的に活用し、観光・自然・イベント・ニュースなど但馬に関するあらゆる情報をタイムリーかつわかりやすく提供した。

(1) ウェブサイト「但馬情報特急」の運営

ウェブサイト「但馬情報特急」を活用し、但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を多分野にわたり収集し、提供した。

- ① ユニークアクセスPV数 931,759件 (R3.4~R4.3末)
- ② ユニークアクセス訪問者数 461,788人



(2) 但馬ふるさと特派員の養成

住民による但馬の魅力発信を推進するため、情報発信に関する現地講座を開催し特派員のスキルアップを図った。

- ① 実施日 令和4年3月12日
- ② 実施場所 豊岡市内の古民家カフェ
- ③ 参加者数 5人
- ④ 内 容 写真の撮り方・ブログ作成のワークショップを少人数制で実施

(3) 情報誌「T2」の発行

但馬の魅力を様々な切り口で紹介するとともに、但馬地域内の観光・イベント等の各種情報を発信するため、情報誌を発行した。

- ① 発行時期 年3回〔夏号(6月)、秋冬号(11月)、春号(3月)〕
- ② 発行部数 各7.5万部
- ③ 仕 様 A4中綴じカラー印刷(20ページ)
- ④ 配布先 但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、旅行会社、報道機関など



(4) 但馬ツーリズムマップの制作

交流人口を拡大するため、但馬の多彩な魅力の詰まった観光に便利なマップを発行した。

- ① 部 数 20,000部
- ② 配布先 観光協会、道の駅、観光施設、宿泊施設など



2 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力をPRし、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブを運営した。

(1) 加入状況

	但馬内	但馬外				合計	1年 会員	3年 会員
		県内： 但馬除	近畿内： 県内除	近畿外	小計			
R3.3末	727	570	290	161	1,021	1,748	817	931
R4.3末	810	508	250	154	912	1,722	813	909
増減	83	△62	△40	△7	△109	△26	△4	△22

(2) 但馬ファンクラブの運営

但馬を楽しんでもらうための会員へのサービスを実施した。

- ① 施設利用 (R4.3月末224施設) の割引等が受けられる会員パスポートの発行
- ② 但馬の情報誌等 (T2、パンフレット) の送付 (年3回)
- ③ 但馬の特産品のプレゼント
 - ・年3回、抽選で計150名が当選 (応募総数1,035名)
- ④ 但馬内のミュージアム等無料招待券の配付
 - ・実施期間 4月3日 (土) ~ 11月28日 (日)
 - ・対象施設 玄武洞ミュージアム、たじま高原植物園 ほか7施設
 - ・利用者数 401人



(ミュージアム無料招待券)



(但馬の特産品プレゼント商品)

(3) 入会のPR活動

キャンペーンや各種団体との連携企画により但馬ファンクラブをPRし、会員数の増加を図った。

- ① 道の駅「但馬のまほろば」新規入会キャンペーンの実施
- ② 播但道路利用キャンペーン、但馬空港推進協議会等との連携
 - 応募者の中から抽選で会員パスポートを贈呈
- ③ 但馬検定事業との連携
 - 1級、2級合格者への特典として会員パスポートを贈呈

3 たじま田舎暮らし推進事業 [県民局委託分]

但馬地域への移住・定住を促進するため「たじま田舎暮らし情報センター」を運営し、移住希望者等への情報提供や支援事業を実施した。

(1) 移住相談員の配置

移住相談員を配置し、U・Iターンを考えている方への移住相談や各市町、関係団体と連携した移住支援を行った。

- ・相談件数 127件 (電話、メール、オンライン、イベント等)

(2) オーダーメイドツアーの実施

但馬地域への移住や2拠点居住を具体的に検討している方を対象に、空き家、住環境などの個々のニーズに応じた現地案内を実施した。

- ① 実施回数 20回
- ② 参加者数 20組23名

(3) 田舎暮らし情報の発信

移住マッチングサイト「SMOUT」等で情報発信をするとともに、オンラインイベント等に参加して、但馬地域の田舎暮らしに関する情報を提供した。

- ① ウェブサイト「ひょうご北部で暮らす」による情報発信
- ② 移住マッチングサイト「SMOUT」を活用した情報発信
- ③ オンライン移住フェア等における情報発信



(ウェブサイト ひょうご北部で暮らす)



(移住マッチングサイト SMOUT)

(4) 移住相談会の実施・出展

県民局、市町、関係団体等と連携した移住促進事業を実施するとともに、各種団体が主催する移住・定住イベントに出展した。

① たじま田舎暮らしセミナーの開催

(a) 地域おこし協力隊セミナー

- ・実施日 令和3年11月27日
- ・内容 地域おこし協力隊をテーマにした座談会をオンラインで配信

(b) 農のある暮らしセミナー

- ・実施日 令和4年2月27日
- ・内容 農業をテーマにしたインタビュー動画と座談会をオンラインで配信

- ② たじま就活フェス（たじまオンライン合同企業説明会）との連携
 - ・実施日 令和4年1月15日、3月12日
 - ・内容 但馬で働く先輩たちの暮らしや仕事についてトークライブを配信
- ③ 移住イベント等への出展
 - ・ふるさと回帰フェアほか4回（東京、大阪、オンライン）
 - ・相談件数 36件



（オーダーメイドツアー）



（但馬で働く先輩のトークライブ）

Ⅲ 会議の開催

公益財団法人但馬ふるさとづくり協会定款の規定により、理事会及び評議員会を開催した。

1 理事会

（1）第63回理事会

- ・期日 令和3年5月18日
- ・場所 じばさん TAJIMA

（2）第64回理事会

- ・期日 令和3年6月22日
- ・場所 定款第30条2項の規定に基づく決議の省略による決議

（3）第65回理事会

- ・期日 令和4年2月21日
- ・場所 豊岡稽古堂

2 評議員会

（1）第24回評議員会

- ・期日 令和3年6月8日
- ・場所 定款第18条4項の規定に基づく決議の省略による決議

（2）第25回評議員会

- ・期日 令和4年3月17日
- ・場所 豊岡稽古堂